

東京デザイナーズウィーク2006レポート

平成18年10月31日(火)～11月5日(日)まで明治神宮外苑をメイン会場に都内各所で「LOVE」をテーマに、TOKYO DESIGNER'S WEEK 2006が開催されました。

産技研のデザイン支援事業に大変参考になるため、毎年取材し、多くのデザイナー・メーカーと交流し、デザイン業務に役立てています。

今号では、都内の中小企業の方々にもデザイン開発に直接参考になるイベントとして内容を一部紹介いたします。



図1 明治神宮外苑会場入口

TOKYO DESIGNER'S WEEKとは?

東京デザイナーズウィークの始まりは、1986年、輸入家具専門5社によって始められた「デザイナーズサタデー」でした。当初は業界内における限定イベントでしたが、さらに対象を多くの一般ユーザーにまで広げ、生活デザインへの意識を喚起しようという声をうけ、例年イタリアで開かれているインテリア家具の祭典ミラノサローネをモデルに、1997年、日本の環境に即する形で誕生したのが東京デザイナーズウィークです。

出展はデザイナー、メーカー、ショップ、大学、大使館、メディアなどさまざまな団体が出展し、そのデザインをPRする場となっており、今年で21回目を迎えます。

現在、この東京デザイナーズウィークの主催はNPO法人のデザイン・アソシエーションで行っています。イベント内容は年々拡大し、神宮のメイン展示会場のほか、SHOP EXHIBITIONとして都内の青山・原宿・表参道地域、赤坂・六本木地域、代官山・恵比寿・中目黒地域、新宿地域、銀座・日本橋地域等のインテリア・ブティック・セレクトショップなども参加して大規模なデザイン関連の複合イベントとなっています。

昨年からメイン会場が明治神宮外苑に移り、入場

者が大幅に増加し、今年も7万人が足を運びました。

明治神宮外苑会場の展示風景 100% DESIGN TOKYO

200を超えるメーカー、デザイナーが家具、インテリアアクセサリ、キッチン、バス、トイレ、インテリアファブリック、テーブルウェア、照明、マテリアルなどさまざまなインテリアデザインを展示。



図2 100% DESIGN TOKYO会場

出展作品の中から注目製品・デザインの一部を紹介します。

①LED光源の亚克力板照明機器

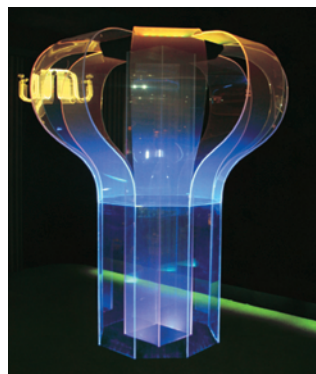


図3
DELAGLAS(デラグラス)
AL995
旭化成ケミカルズ(株)
LED光を当てると素材自体が発光する亚克力板

②ユニットボックス



図4 incomplete box(不完全な箱)

Tadao Hoshino(Designer)
自在な組み合わせにより椅子、テーブル、照明、整理棚になるbox家具。

③竹集成材製品

竹集成材プロジェクト(株)テオリ・倉敷市)
東洋の代表的な素材・竹(bamboo)の集成材によるインテリア製品各種。



図5 竹集成材プロジェクトブース



図6 テーブルとトレイ



図7 ランプシェード

④キッチングッズ

Kitchen Design Movement(貝印株・千代田区)

創業98年の刃物メーカー貝印のデザインプロジェクト。BOYAポーヤ(図8)はケーキ・クッキー作りに必要な製菓道具の収納キット。BIRDバード(図9)はテーブルの上の小鳥のようなキッチンバサミ、刃の部分がテーブルに触れないため衛生的です。



図8 BOYA リトルベーカー



図9 BIRD キッチンバサミ

⑤伝統的調理器具「七輪」テーマのデザイン

七輪プロジェクト(あいかわさとうかねこデザイン
オフィス・板金加工は辰巳工業(株)・江戸川区)

シャープにレーザーカットされたステンレス鋼をベンダーで美しいカーブに曲げたテーブルと、それに載せる円盤グリルの6種類のパターンの組み合わせが素晴らしい。使用する七輪は市販の製品を落とし込む仕様です。



図10 七輪テーブル



図11 七輪とグリル

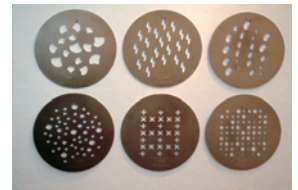


図12 グリル6種類

STUDENT EXHIBITION(学生作品展)

屋外の会場には、国内・海外から47の大学・専門学校が参加して、約500点のインテリアファニチャーが集結し活況でした。



図13 STUDENT EXHIBITION風景

城東支所 技術支援係 デザイン担当

秋山 正 TEL 03-5680-4632

E-mail:akiyama.tadashi@iri-tokyo.jp